

令和4年第10回教育委員会定例会 会議録

1 開催日時 令和4年10月12日（水）午後1時30分～午後2時40分

2 開催場所 第3委員会室

3 出席者

【教育長】 水田 博和

【委員】 竹田 卓弘

【委員】 大野 みどり

【委員】 浅井 敦臣

【委員】 向 文緒

【事務局】 教育部長	西野 正康
文化スポーツ部長	上田 敦
教育総務課長	兒島 康万
同 課長補佐	田之上 愛子
同 担当主査	加藤 恵子
学校教育課長	大城 達也
同 主幹	村上 洋
同 指導主事	加藤 喜英
同 課長補佐	山口 千夏
学校給食課長	加藤 純也
文化財課長	村松 一秀
野外教育センター所長	木全 敦彦
同 主幹	生倉 勉
文化・生涯学習課長	田中 芳樹
スポーツ課長	金田 浩
図書館長	田中 裕子
食育推進給食会企画経営課長	長江 泰典

4 議 題

- (1) 春日井市立中学校標準服（ブレザータイプ）製造申請の認定について
- (2) 春日井市教育委員会表彰について

5 報 告

- (1) 令和4年第5回市議会定例会について
- (2) 令和5年度以降の学校給食共同調理場の管轄校について
- (3) 令和5年（第1回～第3回）教育委員会定例会の日程について
- (4) 春日井市教育大綱（改訂案）について
- (5) 第2次春日井市生涯学習推進計画改定版（中間案）について
- (6) 第2次かすがい市民文化振興プラン改定版（中間案）について

6 議事概要

教育長	本日の傍聴者はありません。
教育長	春日井市教育委員会会議規則第6条第2項の規定により、会議録署名人は、竹田委員を指定。
教育長 (報告事項)	新型コロナ感染者の全数把握を簡略化し、詳しい報告の対象を重症化リスクが高い人に限定する運用が9月26日から全国一律で始まりました。国は、感染拡大が生じて、保健医療を機能させながら社会経済活動を維持できるように、ウィズコロナに向けた感染対策のあり方について引き続き検討していくとしています。 第7波は収束をみせていますが、今後は数の多さではなく、学校での感染の有無に十分注意することが大切です。各校においては、引き続きの感染対策を実施していきます。 今年度の中学校の野外学習と修学旅行は予定通り実施できました。小学校の野外学習は、2学期分を予定通り実施しています。小学校の修学旅行は、11月7日から19日まで10班編成で、1泊2日の日程で京都・奈良方面に出かけます。バス・宿泊施設・食事場所・見学場所等、様々な場所での感染対策を十分に整え、各校で準備が進められています。 中学校の体育大会は、学年別で実施するなど、密を防ぐ工夫をして実施・計画しています。小学校の運動会は、学年ごとや低中高学年に分かれ、体育的授業参観として実施しています。参観者の人数制限や入れ替えを行うなど、感染予防対策の徹底を図っています。 第48回全日本教育工学研究協議会全国大会 愛知・春日井大会が、28、29日に開催されます。コロナ禍でオンライン開催であった第46・47回大会から3年ぶりに、対面での開催となり、現在1,400

	人を超える参加申し込みがあります。春日井の子どもたちの姿、ICTの取り組みを見ていただく良い機会となることを期待しています。 15、16日には「第46回春日井まつり」、22日には「第32回ハニワまつり」がそれぞれ3年ぶりに実施されます。ハニワまつりでは、101体のハニワの野焼き、体験工房や舞台芸能の他、今年度新たに創作劇が上演されます。
教育長	「議題(2) 春日井市教育委員会表彰について」は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書きを適用して非公開とすること及び審議の順序を入れ替えることを提案。
教育長	採決の結果、全員一致で「非公開」、及び、審議の順序を報告の後にすることを決定。
教育長	1 議題 (1) 春日井市立中学校標準服（ブレザータイプ）製造申請の認定について
学校教育課長	資料に基づき「春日井市立中学校標準服（ブレザータイプ）製造申請」の認定について説明。 ※補足1（認定申請は有限会社エモト、株式会社和光、松永株式会社、昭和被服総業株式会社の4者）
教育長、教育委員	（サンプルを確認）
浅井委員	申請No. 2の株式会社和光のⅡ型ブレザー（W30/P70）※サイズアップ仕様について、サイズアップ仕様とはどういうものか。
学校教育課長	体の変化に対応できるように糸を解くと身幅が大きくなるもの。
教育長	採決の結果、全員一致で「認定するもの」と決定。

	2 報告事項 (1) 令和4年第5回市議会定例会について
教育長	
教育総務課長	資料に基づき「令和4年第5回市議会定例会」について説明。
大野委員	部活動の地域移行について、指導員の人材確保が課題と伺っている。具体的に外部指導員をどう募集しているのか。また、今後どのように募集していくのか。
学校教育課長	競技の技術的指導が出来るのはもちろん、部活の代替となる以上、教育的指導という観点も当然必要になってくると考えている。 現在は、各競技団体に人材を紹介してほしいと要請している。今後、部活動の地域移行するにあたり、一般募集をかけるかどうか検討中である。 いずれにしても、来年度からの3年間で国の示す方針のように、休日の部活動を学校管理から切り離すという方法を模索している。 現在、休日に行っている部活動数は小中学校全体で181部あり、外部指導者、部活動指導員として割り当てることが出来るのが40人前後である。 圧倒的に足りないというのが現状であり、地域の受け皿ができるまで一緒にご協力いただきたいのが先生方である。 4月時点のアンケート結果では、小中合わせて300人近い先生が、引き続き休日の部活動に携わって良いと回答を得ている。 先生の身分としてではなく、別の身分としてではあるが、回答を得た先生方に引き続きご協力いただくという方向性が、現実的な第一歩だと考えている。
大野委員	部活動指導員の確保が大変という事実を一般市民は知らない。春日井市のこういった現状について、保護者も知らないのではないかと思っている。 質等を維持する方法の検討は必要ではあるが、もう少し門戸を広げて様々な立場の方に公募をしていかなければ部活動の地域移行は進んでいかないと考えている。様々な方がサポートできる環境を作っていただきたい。

教育長	(2) 令和5年度以降の学校給食共同調理場の管轄校について
学校給食課長	資料に基づき「令和5年度以降の学校給食共同調理場の管轄校」について説明。
教育長	(3) 令和5年（第1回～第3回）教育委員会定例会の日程について
教育総務課長	資料に基づき「令和5年（第1回～第3回）教育委員会定例会の日程」について説明。
教育長	(4) 春日井市教育大綱（改訂案）について
教育総務課長	資料に基づき「春日井市教育大綱（改訂案）」について説明。
教育長	(5) 第2次春日井市生涯学習推進計画改定版（中間案）について
文化・生涯学習課長	資料に基づき「第2次春日井市生涯学習推進計画改定版（中間案）」について説明。
向委員	概要の「Ⅲ 施策の体系、展開」の「Ⅲ 学んだ成果を生かしたまちづくり」の「①社会的課題に対応した学習機会の充実」について、部活動の指導者不足についても対応するのか。
文化・生涯学習課長	計画の中では想定していない。今後取り組む必要があれば検討していきたい。
教育長	(6) 第2次かすがい市民文化振興プラン改定版（中間案）について
文化・生涯学習課長	資料に基づき「第2次かすがい市民文化振興プラン改定版（中間案）」について説明。

浅井委員	概要版パンフレットの計画の期間の中間見直しが2023年になっているが誤りか。
文化・生涯学習課長	2022年が中間見直しのためパンフレットは誤りである。
	○参考資料について
教育長	3 議題 (2) 春日井市教育委員会表彰について 採決のとおり非公開とする。

上記のとおり、議事の経過及びその結果を明確にするためにこの会議録を作成し、教育長及び指定された会議録署名人が署名する。

令和 4 年 11 月 16 日

教育長 水田 博和

署名人 竹田 卓弘